



のびのこちゃん

あ お だ け



たけまるくん

令和5年5月31日 6月号

子どもたちが教えてくれたこと

ふくこうちょう 副校長
よこやま きりほ 横山 喜利穂

これまでに私は、あいさつの大切さを指導するために、クラスの子に向けてや朝会などで“**あ**かるく**い**つでも**き**に**づ**けて**れ**に**でも**”が**あいさつ**名人になるコツだよ、と話してきました。

竹山小学校の子どもたちは、出会った時からあいさつ名人でした。朝、昇降口に立っていると、元気な声で「おはようございます」とこちらが声をかける前にあいさつをしてくれます。それもきちんと顔を見て、中には会釈をしながらあいさつをする子もいます。

「あいさつ」の語源を調べてみると、「お互いの心を開いて近づく」という意味があり、「おはようございます」や「こんにちは」などのそれぞれの言葉には、もともと相手のへのねぎらいや気遣いが込められているそうです。

おはようございます!!



先日、私が出張から戻った時に、給食室の前に並んでいた4年生の給食当番の一人の子から「おかえりなさい」と言われました。思わず笑顔になり「ただいま。」と返しました。きっと「副校長先生はどこかへ行って来たんだな」と察して自然と出た言葉なのでしょう。顔を覚えてもらっていたこと、ほんの短い時間でも思いやってもらったことに感激しました。

また、別の日の下校時には、私が階段を掃除していたときに一人で階段を下りてきた男の子が「さようなら!」と元気よく言った後、階段を4, 5段下りて私の方を振り返り、「ありがとうございます」と言って帰っていきました。わざわざ足を止めて感謝の気持ちを素直に私に伝えてくれたのです。心がこもった素敵なあいさつでした。

相手の存在を認め、相手を思う気持ちを言葉と態度で表すという、語源の通りのあいさつの意味と大切さを竹山小学校の子どもたちが教えてくれました。私も見習って、心を込めたあいさつをしていこうと思いました。